

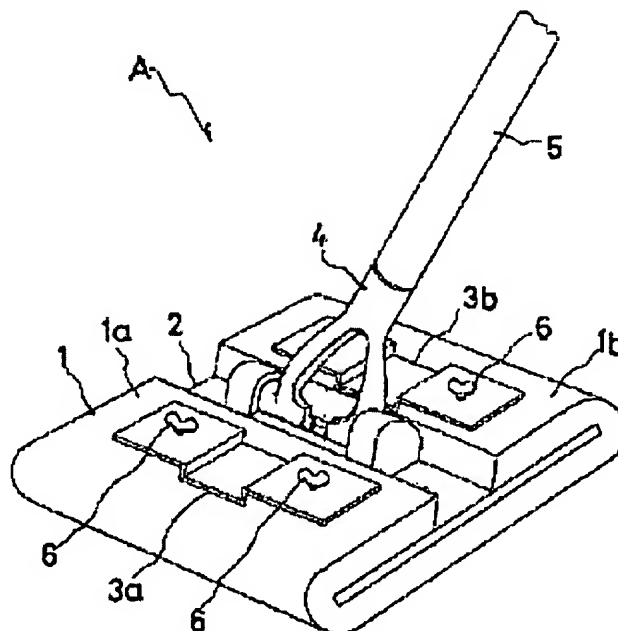
## FIBROUS MOP CONTAINING BLEACHER AND FIBER KNITTING AND WEAVING BODY FOR MOP

**Patent number:** JP11146857  
**Publication date:** 1999-06-02  
**Inventor:** OKUMA HIROTO  
**Applicant:** OKUMA HIROTO  
**Classification:**  
- international: **A47L13/17; A47L13/20; A47L13/256; A47L13/16; A47L13/20; (IPC1-7): A47L13/20; A47L13/17; A47L13/256**  
- european:  
**Application number:** JP19970316797 19971118  
**Priority number(s):** JP19970316797 19971118

[Report a data error here](#)

### Abstract of JP11146857

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To effectively remove stain in a cleaning object on a floor, etc., and also to facilitate the exchange of cleaning parts in a mop at the time of deterioration concerning cleaning through the use of the mop. **SOLUTION:** The mop is provided with a fiber knitting and weaving body 1 where a bleacher is permeated, a mop main body plate 2 where the body 1 is fitted and pinching and fixing plate parts 3a and 3b for pinching and fixing the fiber knitting and weaving body 1 and the mop main body plate 2e through the use of the screwing of screws 6 so as to be freely attachable/detachable. Then, a handle 5 is fitted to the main body plate part 2 with a handle fitting part 4 so as to be freely rocking possible.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(51)Int.Cl.<sup>8</sup> 識別記号A 4 7 L 13/20  
13/17  
13/256

F I

A 4 7 L 13/20  
13/17  
13/256A  
A

審査請求 有 請求項の数14 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平9-316797

(22)出願日 平成9年(1997)11月18日

(71)出願人 597101797

大熊 広人

福岡県筑紫野市大字紫254-20

(72)発明者 大熊 広人

静岡県小笠郡浜岡町池新田5489-3

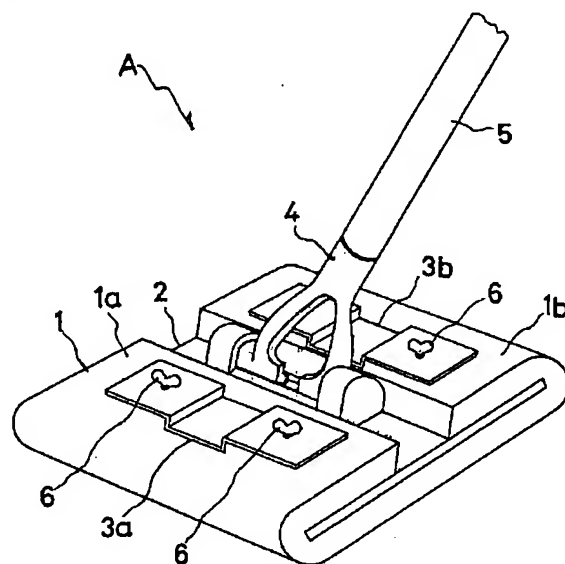
(74)代理人 弁理士 菅 隆彦

(54)【発明の名称】 漂白剤含有繊維モップ及びモップ用繊維編・織体

(57)【要約】

【課題】モップを用いた清掃に際し、床等の清掃対象の汚れを効果的に除去し且つモップの清掃部分が劣化した時の交換を容易にする漂白剤含有繊維モップ及びモップ用繊維編・織体を提供する。

【解決手段】漂白剤を浸透させた繊維編・織体1と、当該繊維編・織体1を取り付けるモップ本体プレート2と、前記繊維編・織体1と前記モップ本体プレート2とを蝶螺子6の螺合を用いて取外し自在挟み込みに固定する挟み付け固定用プレート部3a、3bと、前記本体プレート部2に柄取付部4をとおして揺動自在に柄5を取りつけてなる特徴。



【特許請求の範囲】

【請求項1】漂白剤を浸透させた繊維編・織体と、当該繊維編・織体の左右両端側を折り返し取り付けモップ本体プレートと、前記繊維編・織体の左右両折り返し部をそれぞれ前記モップ本体プレートに対し取外し自在に挟み込み固定しかつ固定手段を用いる挟み付け固定用プレートと、前記モップ本体プレートに取付手段を用いて取付けられる柄と、を有する、ことを特徴とする漂白剤含有繊維モップ。

【請求項2】前記漂白剤は、固形粒子状である、ことを特徴とする請求項1に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項3】前記漂白剤は、次亜塩素酸ナトリウムで代表される、ことを特徴とする請求項1又は2に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項4】前記漂白剤は、前記繊維編・織体の前記左右両折り返し部以外に浸透させる、ことを特徴とする請求項1、2又は3に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項5】前記繊維編・織体は、ポリエステル、麻、木綿、アクリル又はレイヨン等、或いはこれ等の組合せによる編成又は織成からなる、ことを特徴とする請求項1、2、3又は4に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項6】前記挟み付け固定用プレートは、中央部に形成した凹段部を中に挟んだ両側片部に、螺子穴を貫設するとともに下面に銜え込み突起を突設する、ことを特徴とする請求項1、2、3、4又は5に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項7】前記モップ本体プレートは、上面に所要間隔を開けて一対の軸受けブラケットを相対向並着する、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5又は6に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項8】前記固定手段は、螺子である、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6又は7に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項9】前記取付手段は、前記モップ本体プレートと前記柄を取外し自在に取付ける、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7又は8に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項10】前記取付手段は、前記モップ本体プレートと前記柄を揺動回転自在に取付ける、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、

8又は9に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項11】前記取付手段は、二股合流端には柄先端を嵌合し、二股端には相反する水平方向に外向嵌入軸部を突出する、ことを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9又は10に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項12】前記ブラケットは、前記取付手段の外向嵌入軸部を嵌入自在に中央部に突設した嵌合軸受部を中に挟んだ両袖板に前記挟み付け固定用プレート両側片部の螺子穴に対応合致する螺子穴を穿設する、ことを特徴とする請求項7、8、9、10又は11に記載の漂白剤含有繊維モップ。

【請求項13】清掃自在に漂白剤を浸透含蔵した、ことを特徴とするモップ用繊維編・織体。

【請求項14】前記漂白剤は、清掃部のみに浸透含蔵する、ことを特徴とする請求項13に記載のモップ用繊維編・織体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、清掃用に供される漂白剤含有繊維モップ及びモップ用繊維編・織体に係るものである。

【0002】

【従来の技術分野】従来のモップは、清掃時に手に把持する柄と、当該柄の先部に連結するモップ本体と、当該モップ本体に接着取付けされた繊維編・織体からなり、繊維編・織体に水、無磷洗剤等を繊維編・織体に付けて床等の清掃対象の清掃に使用していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のモップでは、特に床等の表面上の染み等の汚れが落ちにくいという欠点があった。またこれに関して、汚れが落ちにくい為柄に力を入れて床等を擦っても、繊維編・織体で力が吸収・分散されてしまうため、力がモップの先にうまく伝わらず、床を擦らなければならない様な汚れのある場合の清掃には不向きであった。

【0004】力を入れて床を擦る清掃用具として、デッキブラシ等の様なものがあるが、清掃時に力を入れなければならない、清掃自体に過酷な労働を強いられて、且つ床等の清掃対象が柔らかい場合等には、当該清掃対象を傷つけてしまうことがあった。

【0005】また従来のモップでは、繊維編・織体が劣化した場合に繊維編・織体を新しいものに交換する時には、前記繊維編・織体と前記モップ本体が接着固定されているため、本体と繊維編・織体を使い捨てとして一体に同時交換しなければならないため、大変不経済であった。またこれに関して、本体と繊維編・織体の接触部の劣化が進んでない裏面が活用されないまま、新しいもの

と交換されていた。

【0006】ここにおいて本発明の解決すべき主要な目的は、次の通りである。本発明の第1の目的は、汚れを効果的に除去する漂白剤含有繊維モップ及びモップ用繊維編・織体の提供にある。

【0007】本発明の第2の目的は、清掃作業が軽い負担で行える漂白剤含有繊維モップ及びモップ用繊維編・織体の提供にある。

【0008】本発明の第3の目的は、モップから繊維編・織体のみが取外し交換可能である漂白剤含有繊維モップ及びモップ用繊維編・織体の提供にある。

【0009】本発明のその他の目的は、明細書、図面、特に特許請求の範囲の各請求項の記載から自ずと明らかとなろう。

【0010】

【課題を解決するための手段】本発明は、当該課題を解決するに当たり、繊維編・織体に漂白剤を浸透させて且つ繊維編・織体とモップ本体プレートが取外し自在に形成されていることにより、軽い作業で床等の清掃対象の汚れを効果的に除去するとともに、繊維編・織体のみを交換できるように各種工夫が凝らしてある。

【0011】更に具体的詳細に述べると、当該課題の解決では、本発明が次に列挙する新規な特徴的構成手段を採用することにより、前記目的を達成するようになされる。

【0012】即ち、本第1発明の第1の特徴は、漂白剤を浸透させた繊維編・織体と、当該繊維編・織体の左右両端側を折り返し取り付けるモップ本体プレートと、前記繊維編・織体を前記モップ本体プレートに対し取外し自在に挟み込み固定しかつ固定手段を用いる挟み付け固定用プレートと、前記モップ本体プレートに取付手段を用いて取付けられる柄と、を有してなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0013】本第1発明の第2の特徴は、前記本第1発明の第1の特徴における漂白剤が、固形粒子状である漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0014】本第1発明の第3の特徴は、前記本第1発明の第1又は第2の特徴における漂白剤が、次亜塩素酸ナトリウムで代表されてなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0015】本第1発明の第4の特徴は、前記本第1発明の第1、第2又は第3の特徴における漂白剤が、前記繊維編・織体の前記左右両折返し部以外に浸透させてなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0016】本第1発明の第5の特徴は、前記本第1発明の第1、第2、第3又は第4の特徴における繊維編・織体が、ポリエステル、麻、木綿、アクリル又はレイヨン等、或いはこれ等の組合せによる編成又は織成からなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0017】本第1発明の第6の特徴は、前記本第1発

明の第1、第2、第3、第4又は第5の特徴における挟み付け固定用プレートが、中央部に形成した凹段部の中に挟んだ両側片部に、螺子穴を貫設するとともに下面に銜え込み突起を突設してなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0018】本第1発明の第7の特徴は、前記本第1発明の第1、第2、第3、第4、第5又は第6の特徴におけるモップ本体プレートが、上面に所要間隔を開けて一対の軸受ブラケットを相対向並着してなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0019】本第1発明の第8の特徴は、前記本第1発明の第1、第2、第3、第4、第5、第6又は第7の特徴における固定手段が、螺子である漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0020】本第1発明の第9の特徴は、前記本第1発明の第1、第2、第3、第4、第5、第6、第7又は第8の特徴における取付手段が、モップ本体プレートと柄を取外し自在に取付けてなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0021】本第1発明の第10の特徴は、前記本第1発明の第1、第2、第3、第4、第5、第6、第7、第8又は第9の特徴における取付手段が、モップ本体プレートと柄を揺動回転自在に取付けてなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0022】本第1発明の第11の特徴は、前記本第1発明の第1、第2、第3第4、第5、第6、第7、第8、第9又は第10の特徴における取付手段が、二股合流端には柄先端を嵌合し、二股端には相反する水平方向に外向嵌入軸部を突出してなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0023】本第1発明の第12の特徴は、前記本第1発明の第7、第8、第9、第10又は第11の特徴におけるブラケットが、前記取付手段の外向嵌入軸部を嵌入自在に中央部に突設した嵌合軸受部の中に挟んだ両軸板に前記挟み付け固定用プレート両側片部の螺子穴に対応合致する螺子穴を穿設してなる漂白剤含有繊維モップの構成採用にある。

【0024】本第2発明の第1の特徴は、清掃自在に漂白剤を浸透含蔵したモップ用繊維編・織体の構成採用にある。

【0025】本第2発明の第2の特徴は、前記本第2発明の第1の特徴における前記漂白剤が、清掃部のみに浸透含蔵してなるモップ用繊維編・織体の構成採用にある。

【0026】

【発明の実施の形態】本発明の一実施の形態を図面について説明する。図1は本形態例の斜視図であり、図2はモップ本体プレートの平面図であり、図3は前記挟み付け固定用プレートをセットしたモップ本体プレートの平面図であり、図4はモップ本体プレート及び分離した挟

み付け固定用プレートの正面図であり、図5は取付手段である柄取付部の正面図であり、図6は当該柄取付部の側面図であり、図7は当該柄取付け部を先端に嵌合した柄の縮小正面図をそれぞれ示す。

【0027】以下、図1乃至図7を参照して説明する。本形態例の漂白剤含有繊維モップAは、繊維編・織体1、モップ本体プレート2、挟み付け固定用プレート3a、3b、柄取付け部4及び柄5からなる。

【0028】前記繊維編・織体1は、厚みのあるシート状になっており、前記モップ本体プレート2の下面から上面に至って左右両方向から左右両側を折り返し巻き付けて、前記挟み付け固定用プレート3a、3bにより左右両折り返し部1a、1bを上方から押さえつけて固定される。当該挟み付け固定用プレート3a、3b中央部に形成した凹部12a、12b及び凹部12a、12bを中に挟んだ両側片部3a'、3a''、3b'、3b''下面に突出する銜込み突起13群により、前記繊維編・織体1が前記モップ本体プレート2からずれたり、脱離したりすることを防ぐ。当該銜込み突起13は交換時の危険防止のために先端を丸く加工したり、棒状でもよい。

【0029】前記繊維編・織体1は、次亜塩素酸等の漂白剤が予め内部に浸透して乾燥するように加工されている。当該漂白剤は水溶性であり、当該漂白剤は固形粒子状にして前記繊維編・織体1に含蔵するように加工されている。本形態例の繊維編・織体1には予め水溶性の漂白剤が浸透させてあるため、柄5の把持部18を把持して、モップ本体プレート2と共に前記繊維編・織体1を水に浸すだけで前記繊維編・織体1に漂白剤液に浸したと同じ溶出効果が得られる。

【0030】前記繊維編・織体1の編成又は織成素材は麻、ポリエステル、レイヨン又は木綿等、或いはこれらの組合せからなり、素材繊維は吸水性に富み、素材繊維自体の硬さは清掃対象によって選択する。

【0031】前記モップ本体プレート2と前記挟み付け固定用プレート3a、3bの間に前記繊維編・織体1の左右両折り返し1a、1bが挟み込まれ、蝶螺子6の貫入螺合により固定される。前記蝶螺子6はモップ本体プレート2上面に所要間隔を開けて対向並着したブラケット段7a、7bの左右袖板7a'、7a''、8a'、8a''の外端寄りに螺穿した螺子穴8と前記挟み付け固定用プレート3a、3bの両側螺子穴14とを縦貫して螺合されている。

【0032】前記蝶螺子6の螺回による取付け・取外しにより、前記モップ本体プレート2を交換すること無しに、前記繊維編・織体1のみをいつでも裏返し使用又は交換可能となっている。

【0033】前記モップ本体プレート2への前記柄5の取付けは、前記柄取付部4を介して行われている。前記柄取付部4の二股部17相互を接近するよう圧縮弾性変

形させて、二股部17各先端に相反する外方向に水平突設した嵌入軸部15a、15bを前記ブラケット7a、7bの中央部相互に渡設した柄取付部搭載部10のセット溝11上を滑らせて、ブラケット7a、7b中央部に対向穿設する嵌合軸受部9a、9bに嵌合し、ストッパー16a、16bにより前記嵌合軸受部9a、9bとの摩擦力及び前記二股部17の弾性反発力を利用して、前記嵌入軸部15a、15bを中心に前記柄5が回転揺動可能な程度に枢結する。

【0034】前記柄5の揺動回転により、前記柄5は前記モップ本体プレート2に対して回転自在となり、回転運動を物理的に妨げないという理由からも前記凹部12a、12bが設けられている。回転自在であることから、前記柄5の把持部18を把持して清掃する場合に、床等の清掃対象に対して前記繊維編・織体1の面を常に有効な方向に接触させて清掃作業をすることが出来る。

【0035】前記柄5の前記把持部18を把持して、前記モップ本体プレート2の裏面の前記繊維編・織体1を床等の清掃対象に接触するように位置させて清掃対象上を滑らせて、擦るように往復運動を行えば、汚れを除去できる。柄取付け部4により前記柄5が回転可能である為、前記繊維編・織体1の接触面で自在に清掃することが可能である。

【0036】前記繊維編・織体1には漂白剤が浸透包蔵させてある為、従来の水及び中性洗剤を用いて清掃した場合に比べて、床等の清掃対象の表面上の染み等の汚れが格段に除去できるため、力を入れて擦らなくてもよく、清掃作業の負担が大変軽くなる。

【0037】長時間の使用等により前記繊維編・織体1が劣化した場合には、交換作業が必要となるが、前記繊維編・織体1のみの交換でよい。蝶螺子6を外し、挟み付け固定用プレート3a、3bを外せば、前記繊維編・織体1が容易に交換可能である。

【0038】また、前記モップ本体プレート2の上面に位置する前記繊維編・織体1の左右両折り返し部1a、1bの前記蝶螺子6の付近の部分には漂白剤が浸透しないように加工されている。このことにより、前記繊維編・織体1の交換時に手等に漂白剤が多量について手が荒れたりすること等が防げる。

【0039】また本発明は、業務用等の場合の広い清掃範囲の使用に適するものであるが、モップ本体プレート2、繊維編・織体1及び柄5等を小型にすれば、狭い場所を清掃することにも適し、家庭用にも使用できる。

【0040】また、繊維編・織体1を床等の清掃対象によって適した材質のものに交換して効果的な清掃を行うことが出来るので、汚れが少ない場合や床等の清掃対象が柔らかくて傷つきやすい場合等には柔らかい繊維の材質を用いて、汚れが多い場合や床等の清掃対象が固くて傷つきにくい場合等には硬い繊維の材質を用いるという使い分けが出来る。

【0041】

【発明の効果】本発明は、前記のように漂白剤を繊維編・織体に浸透させて、清掃時には漂白剤液を浸した状態で清掃できる為、床等の清掃対象の汚れを有効に除去でき、また、長時間の使用等により前記繊維編・織体の劣化が起きた場合には、繊維編・織体のみを容易に交換使い捨て可能となり、また繊維編・織体の材質を交換して、清掃対象に合わせた有効な清掃が可能であるという優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明実施形態例の斜視図である。

【図2】モップ本体プレート部の平面図である。

【図3】挟み付け固定用プレート部の平面図である。

【図4】モップ本体プレート部及び分離した挟み付け固定用プレート部の正面図である。

【図5】柄取付部の正面図である。

【図6】柄取付部の側面図である。

【図7】柄取付け部を嵌合した柄の縮小正面図である。

【符号の説明】

A…漂白剤含有繊維モップ

1…繊維編・織体

2…モップ本体プレート

3a, 3b…挟み付け固定用プレート

3a', 3a'', 3b', 3b''…左右両片部

4…柄取付部

5…柄

6…蝶螺子

7a, 7b…ブラケット

7a', 7a'', 7b', 7b''…袖板

8…螺子穴

9a, 9b…嵌入軸受部

10…柄取付部搭載部

11…セット溝

12a, 12b…凹段部

13…銜込み突起

14…螺子穴

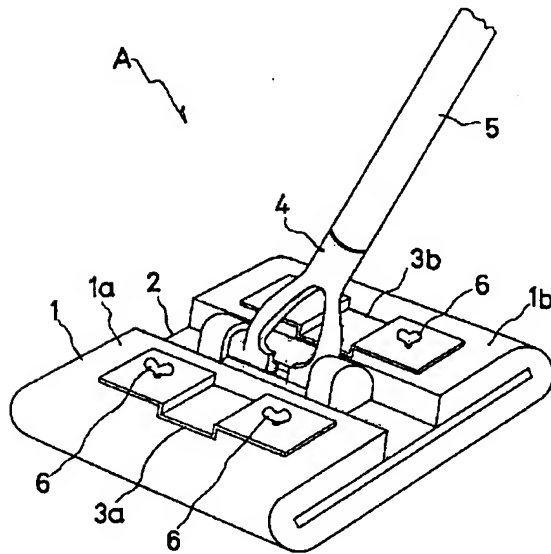
15a, 15b…嵌入軸部

16a, 16b…ストッパー

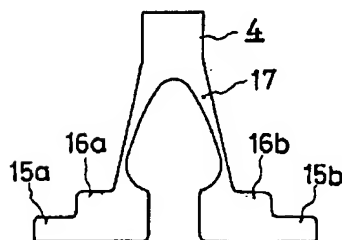
17…二股部

18…把持部

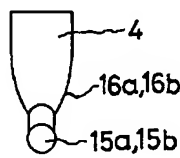
【図1】



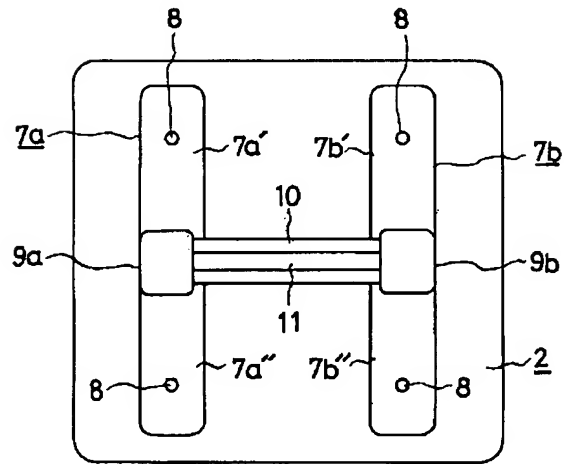
【図5】



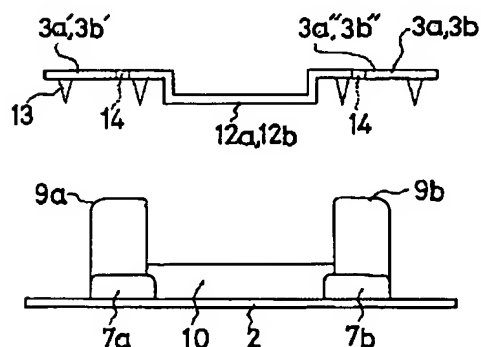
【図6】



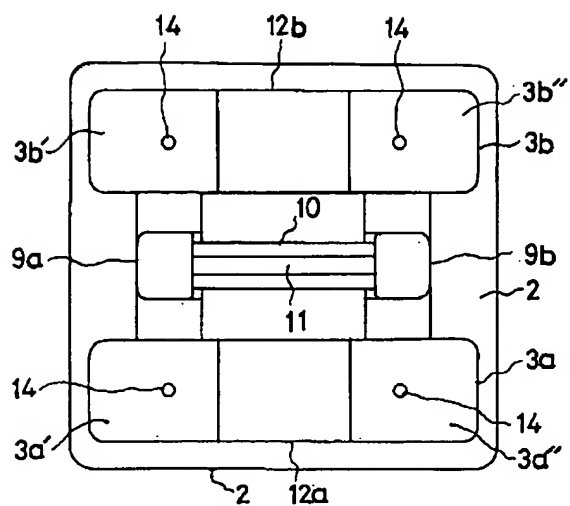
【図2】



【図4】



【図3】



【図7】

